



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 リンナイ株式会社
 コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	57,880	9.1	4,455	3.7	5,224	9.6	3,218	0.7
25年3月期第1四半期	53,031	△2.1	4,298	△13.5	4,766	△15.6	3,196	36.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 7,073百万円 (28.6%) 25年3月期第1四半期 5,498百万円 (36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	65.40	—
25年3月期第1四半期	65.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	279,960	199,273	69.0
25年3月期	262,590	178,007	65.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 193,168百万円 25年3月期 172,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,000	8.6	12,000	13.2	13,000	12.9	8,000	7.0	158.74
通期	268,000	6.4	30,000	13.8	32,000	10.1	20,000	3.2	391.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月及び7月に自己株式の処分を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、これを考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 上海林内熱能工程有限公司 、 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	54,216,463 株	25年3月期	54,216,463 株
26年3月期1Q	2,558,963 株	25年3月期	5,158,638 株
26年3月期1Q	49,209,347 株	25年3月期1Q	49,059,211 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では緊縮財政や雇用情勢の悪化により景気低迷が長期化しているものの、米国の景気は住宅市場および雇用環境の改善を中心に回復基調を維持しました。中国では住宅販売が増加した一方、経済全体の成長は鈍化傾向となりました。また国内経済は、現政権発足後の円安・株高による景気回復への期待が高まった中でも、設備投資や個人消費に力強さは見られず、実体経済への反映には至っておりません。

国内の住宅関連業界は、消費税増税を控えた駆け込み需要によって新設住宅着工戸数が堅調に推移していることに加え、中古住宅販売やリフォーム市場における買替需要も活発化するなど順調な動きを見せております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「ジャンプUP 2014」の2年目を迎え、総合熱エネルギー機器メーカーとしての商品ラインアップを拡充し、人々の暮らしと地球環境に貢献すべく、グローバルな事業活動を進めてまいりました。販売面につきましては、国内では、厨房機器・給湯機器ともに高級ゾーンへのシフトが進み、売上増となりました。海外では、アメリカなどの住宅市場の好調を背景に主力のガス機器販売が伸長することに加え、為替の影響により増収となりました。損益面につきましては、国内において高付加価値商品へのシフトが順調に進み、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高578億80百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益44億55百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益52億24百万円（前年同期比9.6%増）、四半期純利益32億18百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

厨房機器では、テーブルコンロの市場縮小が続いておりますが、台所のシステムキッチン化が進んでおり、ビルトインコンロの売上が増加しました。給湯機器では、給湯単能機からお湯を多目的に利用する給湯複合機への移行により、給湯暖房機および浴室暖房乾燥機や床暖房などの温水端末の販売増へとつながっております。また、ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE（エコワン）」やレンジフードなど、当社グループにとって新しい商品群の販売が好調に推移しております。日本の売上高は386億61百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は39億82百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

〈韓国〉

前期から引き続き景気の低迷によりボイラー市場が縮小しており、主力商品であるボイラーの販売が減少するなど現地の売上は前年を下回ったものの、為替の影響により、韓国の売上高は64億18百万円（前年同期比18.7%増）となりました。一方、販管費の増加によって、営業損失は2億58百万円（前年同期は営業利益2億79百万円）となりました。

〈アメリカ〉

アメリカの現地経済は緩やかな回復へと向かっており、住宅販売が堅調に推移したことにより、タンクレス給湯器の販売は前年を上回りました。アメリカの売上高は33億61百万円（前年同期比31.5%増）、営業利益は1億33百万円（前年同期は営業利益0.3百万円）となりました。

〈オーストラリア〉

オーストラリア経済の景況感悪化を背景に、住宅着工件数や住宅設備機器販売が低調であり、ガス瞬間型給湯器の売上に影響が出ておりますが、為替の影響により、オーストラリアの売上高は28億8百万円（前年同期比6.1%増）となりました。一方、消費の低迷に伴って市場は安価型の商品割合が高まっており、営業利益は1億91百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

〈中国〉

中国では、上海をはじめとする沿岸部だけでなく、内陸部においても住宅販売は増加しており、ガスインフラの拡大や生活水準の向上に伴って、ガス機器の販売は順調に推移しております。中国の売上高は33億57百万円（前年同期比54.3%増）、営業利益は1億44百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第1四半期 (平成24年4月1日 ～6月30日)		当第1四半期 (平成25年4月1日 ～6月30日)		増 減		前 期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	27,406	51.7	30,393	52.5	2,986	10.9	127,125	50.5
厨房機器	17,231	32.5	17,805	30.8	574	3.3	78,782	31.3
空調機器	1,260	2.4	1,516	2.6	255	20.3	15,666	6.2
業用機器	1,697	3.2	1,755	3.0	58	3.4	6,912	2.7
その他	5,435	10.2	6,409	11.1	974	17.9	23,346	9.3
合 計	53,031	100.0	57,880	100.0	4,849	9.1	251,832	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第1四半期 (平成24年4月1日～6月30日)			当第1四半期 (平成25年4月1日～6月30日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	10,637	6,876	17,514	13,018	7,959	20,977
II 連結売上高 (百万円)	—	—	53,031	—	—	57,880
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	20.1	13.0	33.0	22.5	13.8	36.2

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ173億70百万円増加し2,799億60百万円となりました。また、負債は38億94百万円減少し806億87百万円となりました。純資産につきましては、自己株式の処分を行ったこともあり、212億65百万円増加し1,992億73百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は69.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、上海林内熱能工程有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,691	61,417
受取手形及び売掛金	59,699	53,541
有価証券	39,479	36,285
商品及び製品	16,467	20,066
原材料及び貯蔵品	9,855	10,538
その他	5,059	5,844
貸倒引当金	△487	△547
流動資産合計	177,766	187,146
固定資産		
有形固定資産	41,121	42,571
無形固定資産	1,526	2,637
投資その他の資産		
投資有価証券	30,665	35,578
その他	11,980	12,512
貸倒引当金	△470	△485
投資その他の資産合計	42,176	47,606
固定資産合計	84,823	92,814
資産合計	262,590	279,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,446	41,774
短期借入金	3,748	3,831
未払法人税等	5,931	2,417
賞与引当金	3,153	1,127
その他の引当金	1,895	1,962
その他	13,897	16,758
流動負債合計	73,073	67,871
固定負債		
長期借入金	2,550	2,550
退職給付引当金	4,625	5,187
その他の引当金	39	41
その他	4,293	5,037
固定負債合計	11,508	12,816
負債合計	84,582	80,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,720	12,432
利益剰余金	178,540	180,416
自己株式	△23,480	△11,648
株主資本合計	170,240	187,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,919	2,104
為替換算調整勘定	332	3,403
その他の包括利益累計額合計	2,252	5,507
少数株主持分	5,515	6,104
純資産合計	178,007	199,273
負債純資産合計	262,590	279,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	53,031	57,880
売上原価	37,218	40,443
売上総利益	15,812	17,437
販売費及び一般管理費	11,514	12,981
営業利益	4,298	4,455
営業外収益		
受取利息	223	216
受取配当金	141	159
持分法による投資利益	240	111
為替差益	—	236
その他	126	126
営業外収益合計	732	850
営業外費用		
支払利息	65	49
為替差損	179	—
固定資産除却損	11	20
その他	7	12
営業外費用合計	264	81
経常利益	4,766	5,224
税金等調整前四半期純利益	4,766	5,224
法人税、住民税及び事業税	1,914	2,174
法人税等調整額	△424	△312
法人税等合計	1,490	1,861
少数株主損益調整前四半期純利益	3,275	3,362
少数株主利益	79	144
四半期純利益	3,196	3,218

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,275	3,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	184
為替換算調整勘定	2,174	3,200
持分法適用会社に対する持分相当額	126	326
その他の包括利益合計	2,222	3,710
四半期包括利益	5,498	7,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,163	6,473
少数株主に係る四半期包括利益	335	600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月5日開催の取締役会決議に基づき、公募による自己株式の処分を行い、平成25年6月24日を払込期日として普通株式2,600,000株を処分しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,712百万円増加、自己株式が11,834百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金は12,432百万円、自己株式は11,648百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オーストラ ラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	37,575	5,405	2,555	2,646	2,176	50,359	2,671	—	53,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,225	152	—	3	363	4,744	661	△5,406	—
計	41,801	5,557	2,555	2,650	2,540	55,104	3,332	△5,406	53,031
セグメント利益又は 損失(△)	3,517	279	0	339	△5	4,131	350	△183	4,298

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オーストラ ラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	38,661	6,418	3,361	2,808	3,357	54,607	3,273	—	57,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,107	102	—	0	346	5,558	740	△6,299	—
計	43,769	6,520	3,361	2,808	3,704	60,165	4,014	△6,299	57,880
セグメント利益又は 損失(△)	3,982	△258	133	191	144	4,193	381	△120	4,455

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。